

読書のすゝめ

映画化されます！

『オリエン特急殺人事件』アガサ・クリスティ



数日ばかりでヨーロッパを走り抜ける豪華寝台列車、オリエン特急行。さまざまな国の客が乗り合わせたその日の列車は、雪の中で立ち往生してしまう。しかも車内で殺人事件まで起こった。殺されたのは、金持ちのアメリカ人男性。たまたまこの列車に乗っていた名探偵エルキュール・ポアロは、事件を調査することになる。犯人は乗客の誰かにまちがいない。ところが全員にアリバイがあるのだ。はたして、ポアロの推理は…。



その 28 H 29 12 / 8

『沙門空海唐の国にて鬼と宴す』夢枕獏（角川文庫）



中国・唐の時代。盟友・橘逸勢らと共に、遣唐使として長安に入った若き僧・空海。密教の真髄を「盗みしてきた」と豪語する空海は、ありあまる才で多くの人を魅了していく。一方長安では、奇怪な事件が続いていた。役人・劉の屋敷に猫の化け物を取り憑き、皇帝の死を予言したという。噂を聞いた空海と逸勢は、劉家を訪れ妖猫と対峙することに。その時から二人は、唐王朝を揺るがす大事件にかかわることになる。

空海と、中国が生んだ稀代の詩人・白楽天の運命の出会い。極楽の宴、妖猫の呪い、楊貴妃の真実、歴史を揺るがす巨大な「謎」――。4巻のボリュームも壮大なスケールにひかれて一気読みしてしまいます。

『祈りの幕が下りる時』東野圭吾（講談社）



極限まで追いつめられた時、人は何を思うのか。夢見た舞台を実現させた女性演出家。彼女を訪ねた幼なじみが、数日後、遺体となって発見された。数々の人生が絡み合う謎に、捜査は混迷を極めるが――

第48回吉川英治文学賞受賞作品！ 100万人が感動した加賀シリーズ10作目にして、加賀恭一郎の最後の謎が解き明かされる。

♡ 2年次生はいよいよ修学旅行ですね。図書館には沖繩関連の本が多くあります。現代文で読んだ『沖繩戦 ある母の記録』（安里要江）『ひめゆりの少女 十六歳の戦場』（宮城喜久子）など、全文を読んでみてはいかがでしょう？

♡ 冬休み中は午前中の開館となります。また、休業中の貸し出しがありませんので、終業式22日までにご手続きをしてください。

♡ 冬休み中は午前中の開館となります。また、休業中の貸し出しがありませんので、終業式22日までにご手続きをしてください。